2014年5月：JaCVAM活動マンスリーレポート

NO.	項　　目	記　載　内　容
国内学会		
1	発表者名	小島　肇
	演題名	シンポジウムⅡ「iPS細胞技術の発展と創薬・治療への応用」動物実験代替法へのiPS細胞の応用
	学会名，発表年月及び場所	第21回HAB研究機構学術年会（2014.5）（東京）
2	発表者名	小島　肇
	演題名	シンポジウムⅢ「化粧品および製薬開発における動物実験の世界的動向」EUにおける化粧品開発の現状と今後の動勢
	学会名，発表年月及び場所	日本実験動物科学技術さっぽろ2014（第61回日本実験動物学会総会，第48回日本実験動物技術者協会総会）（2014.5）（札幌）
3	発表者名	小島　肇
	演題名	海外レギュレーションの最近の動向
	学会名，発表年月及び場所	平成26年度日本環境変異原学会公開シンポジウム「レギュラトリーサイエンス」（2014.5）（東京）
4	発表者名	小島　肇
	演題名	シンポジウム2「創薬を支援する先端培養技術：PKPD予測に有用なヒト細胞の培養モデル」新しい評価体系構築に関する欧州の動向と日本の寄与
	学会名，発表年月及び場所	日本組織培養学会　第87回大会（2014.5）（東京）

5	発表者名	Hajime Kojima, Nicole Kleinstreuer[*1], Lim Chae-Hyung[*2], Takashi Sozu[*3], Mika Watanabe[*4], Takeru Niitsma[*4], Kunihiko Yamashita[*5], Takayuki Fukuda[*6], Noriko Yamaguchi[*6], Sho Fujiwara[*6], Hiroyuki Yamaguchi[*7,*8] and Toshiaki Takezawa[*8]
	他機関所属の著者がいる場合には所属機関名を記載する	[*1]ILS/NICEATM/ICCVAM, [*2]KOCVAM/MFDS, [*3]Kyoto University, [*4]Hatano Research Institute, Food and Drug Safety Center, [*5]Daicel Corporation, [*6]BoZo Research Center Inc., [*7]Kanto Chemical Co.,Inc., [*8]National Institute of Agrobiological Sciences
	演題名	Pre-validation study of Vitrigel-EIT (Eye Irritancy Test) method (Vitrigel-EIT:眼刺激性試験)法のプレバリデーション研究
	学会名, 発表年月及び場所	日本組織培養学会　第87回大会(2014.5)(東京)
6	発表者名	小島　肇
	演題名	Vitrigel-modelを活用したADME/Tox試験法の実用化構想
	学会名, 発表年月及び場所	NIASシンポジウム「再生医療, 創薬および動物実験代替法の分野における実用化を指向したコラーゲンビトリゲルの開発状況(2014.5)(東京)